

# 資料 6

平成30年2月

(1) 意見聴取会等の意見について

1 意見聴取会

開催場所	開催日時	場 所	参加者数
有漢中学校区	平成 30 年 1 月 15 日(月) 19～20 時 10 分	有漢生涯学習センター 2 階研修室	2 1 名 + 1 0 名
成羽中学校区	平成 30 年 1 月 17 日(水) 19～20 時 10 分	成羽中学校 2 階家庭科 室	2 0 名 + 1 0 名
高梁東中学校区	平成 30 年 1 月 18 日(木) 19～20 時 25 分	津川地域市民センター	4 0 名 + 1 0 名
高梁中学校区	平成 30 年 1 月 19 日(金) 19～20 時 15 分	高梁総合文化会館 2 階 レクチャールーム	3 1 名 + 1 0 名
高梁北中学校区	平成 30 年 1 月 22 日(月) 19～20 時 15 分	川面地域市民センター	2 7 名 + 1 0 名
川上中学校区	平成 30 年 1 月 24 日(水) 19～20 時 35 分	川上総合学習センター 2 階婦人青年活動室	2 7 名 + 1 0 名
成羽中学校区 (備中会場)	平成 30 年 1 月 25 日(木) 19～20 時 20 分	備中地域局 2 階大会議 室	1 8 名 + 1 0 名
※ 参加者数の欄のプラスの数は、審議委員、事務局の出席者数である。		計	1 8 4 名 + 7 0 名

2 ホームページ等による意見募集

募集期間：平成 2 9 年 1 2 月 2 0 日～平成 3 0 年 1 月 2 9 日 意見数 1 5 件

3 議会全員協議会

開催日：平成 2 9 年 1 1 月 2 4 日 意見数 6 件

4 教育委員会

開催日：平成 2 9 年 1 1 月 2 1 日 意見数 7 件

## 1 意見

### 答申案全体

- ・ 答申案は、大変よい内容であると思う。〈高梁東〉
- ・ この答申案でよいと思う。中学校は、川上郡で一つとし、早急に実施するのがよいと思う。通学の交通や寮を先に考えた方がよいと思う。〈川上〉
- ・ 保護者や地域がこの答申を見ても、再編する必要はないという見方になると思う。保護者や地域から再編の声が上がるのが理想であるが、この答申では、なかなか上がりにくいだらうという印象を受けた。〈教育委員会〉

### 再編の賛否

- ・ 子供の事を考えれば、再編もありである。〈有漢〉
- ・ 自分の経験から、小規模校のメリットは、1年生の時に2年生の勉強ができ、2年生の時に1年生の勉強の振り返りが出来る。5年生から本校へ通うようになり、気後れがし、負けた気がした。多人数の中で育ったのと、少人数の中で育ったのでは違うと感じた。人口減により、友人、競争相手も減る。再編を早めに取り組んだ方がよい。地域の方に委託して、通学の車を走らせることとするなどして、再編を即検討頂きたい。〈高梁〉〈意見書〉
- ・ 再編に対して、地域と保護者の意見が異なる。市外から市民となった人は特に早く再編して欲しいと言われる。〈成羽〉
- ・ 中学校の再編は、吉備中央町のように思い切って実施するべきである。批判も出るであろうが、子供のためを考えた場合は、行政主導で、早めの再編の決断をして欲しい。〈意見書〉
- ・ 少子化が進む中で、小、中学校の再編は仕方がない。説明はないが、幼稚園も同様に再編を進めればよいと思う。〈意見書〉
- ・ 再編をせず、現状維持して欲しい。〈高梁東〉〈意見書〉
- ・ 小学校は、再編せず残して欲しい。小学校の複式が1年生と3年生であると、1年生は3年生がどのようなことをしているが分かるからよいが、3年生は、我慢することが多くなる。3年生に補助を付けてもらい、我慢することがないようにしてもらいたい。〈高梁北〉
- ・ 学校は、地域にとって無くてはならないものである。小規模校は、デメリットが多いように考えられるが、メリットを伸ばせば良い。〈意見書〉

## 市の施策との関連

- ・ 移住などにより、子供が来れば再開できるように、休校にはできないのか。  
＜高梁東＞
- ・ 再編を言う前に人口を増やすことを考えなければならないのではないかと。本当に具体的に人口を増やすためにはどうすべきかを話すべきである。＜高梁＞
- ・ 教育行政だけでなく、市全体で子や人口の減少をどうするかを考えた上で、こういった再編を考えた方がよい。＜高梁北＞
- ・ 移住、定住を進めているのに、再編は相反するのではないかと。＜川上＞

## 地域との関連

- ・ 学校再編による地域でのメリット、デメリットをもう少し考えて欲しい。＜成羽＞
- ・ 子供の教育効果も考えなければならないが、学校がなくなれば、地域はさびれてくる。学校も無い所に、若い人はいない。＜成羽＞
- ・ 私が考える基本コンセプトは、「子供を育てるなら高梁」を目標にし、サブテーマとして「環境が子供を育てる。」「教育とはチャンスを与えること。」と考えている。

少子化による小規模校の増加に対応するため、廃校基準を設けるだけでなく、小規模校のデメリットを特徴としてとらえ、小規模だからこそ出来る「子供の夢を育てる」環境作りをしていく。

縦の関係（小中連携）と横の関係（地域との連携）を考えられているが、核となるのは親であり、よい指導者の発掘である。子供に色々なチャンスを与えるためには、親の理解とよい指導者の育成が必要である。これらの方針を具体化することにより、高梁に住みたい、高梁で子育てをしたい、人が増えてくる、結果として人口減少に歯止めをかけていくことが出来るのではないのでしょうか。＜意見書＞

## 部活

- ・ 中学校では、部活の問題をよく聞く。文化部系部活はないとか、運動部系も3つしかなく選択肢が少ないなどの不満がある。解消したいと思っても、地域からの要望があれば検討しますとなると、声の大きい人が勝つので、バランスの取り方が難しいと感じる。そのあたりは、この答申ではどのあたりに加味されているのか。＜教育委員会＞

## その他

- ・ 吹屋小学校の再編の時、地域は反対、保護者は賛成であった。保護者が賛成ということであれば、地域も応援しようということになったが、なぜもう少し早く言ってくれなかったのかという意見があった。〈成羽〉
- ・ 幼少期、分校から本校へ行った時、初めて遅れを取っていることが分かった。幼少期の基礎知識、勉学の遅れは、中学校から高校へ進学する時点で影響が出ると考えられる。〈意見書〉
- ・ この答申案では、向こう10年ぐらいは、市全域で再編の心配はないのか。〈意見書〉
- ・ 先日意見聴取会に参加した向こう10年先には、保護者や事務局でなくなっているようなメンバーで、答申案を検討しても、再編を具体的にイメージしにくいのではないか。〈意見書〉
- ・ 高梁市の防災マップにおいて、現在の幼稚園、小、中学校については全て避難所となっている。再編により閉校した学校は、避難所としてどのように管理していくのか示すべきである。〈意見書〉
- ・ 特別支援に対する記述が必要なのではないか。〈議会全員協議会〉
- ・ 全校で学級数を2クラス以下というようにしているが、福地小学校は、34年度に全校児童6名で3学級となる。福地は、学校を残して欲しいという要望が強い地域ではあるが、学級数は3であるものの、児童数は6名ということとなるとどうなるのか。〈教育委員会〉
- ・ 教員も不足している中で、40年度までは一校も統合とならないが、現実的にも財政的にも学校が維持できるのか。〈教育委員会〉

## 諮問1

- ・ モデル校として小規模校を残すというのはいかがか。全てを集中し、標準化しないという観点もあってもよいと思う。〈高梁〉
- ・ 学力の向上は、少人数の方が向上する。部活は、多くの人数がいた方がよい。子供の可能性を伸ばすため、部活は一市一区という考えはないのか。〈高梁東〉
- ・ 保護者は早めに再編したい、地域は、活性化のために残しておきたい。勉強はそのままで、体育・部活のみ市の負担により合同でできるようにできないか。柔軟に対応する事に対してはどのように考えるか。〈川上〉

- ・ 学校統合について、今回の諮問に対する答申（案）については、今後の在り方を示すものであり、「再編対象年度の少なくとも3年前から準備委員会を設置し、協議する。」となっている。私は、これで十分だと思う。

地域においては、学校がなくなることの寂しさはあるかも知れないが、教育を受けるのは子供たちであり、教育環境を整えるためであれば統合は必要であると考えます。例えば、中学生の保護者なら3年生進級時の統合には、受験を控えていることもあり、環境の変化を心配するがゆえに反対の立場を取っても仕方がないが、地域が学校存続を望むのであれば、一方的な反対だけでは納得できない。少なくとも地域自らが何らかの努力を行う必要があるのではないだろうか。私自身も幼稚園と小学校で統合を経験したが、辛い思いや違和感を持った記憶はない。子供は順応性も高いため、統合に関しては心配ないと思われる。集団生活や部活動を通して心と体を鍛え、優秀な人材を育てていくことが重要であり、大勢の中で切磋琢磨し競争することや選択肢が広がることは、将来を担う子供たちの可能性を高めることにもつながる。様々な経験を積むことが必要であり、競争もなく成績順位は3年間同じとか、体育は個人競技のみで、サッカーもバレーボールもしたことがない。さらに、運動会の競技種目もままならないでは子供たちが可哀想だと思う。〈意見書〉

- ・ いずれにせよメリット、デメリットがあると思う。生徒数が多ければ、コミュニケーション能力が高くなる。少なければ、学習能力が上がる。地域に学校が無くなれば、過疎化が進み、悪影響をもたらす。人口を増やすしかない。人が住みやすい環境づくりを見直す必要があるのではないか。子供の事を考えるなら、再編もやむをえない。

〈意見書〉

- ・ 定住対策をとっている中で、学校のない地域に定住する人はいないと思う。高梁、成羽学区の生徒数の多い学校の生徒を、少ない生徒数の学校へとする再編も考えると良いのではないか。定住を希望する人も、定住しやすいのではないかと思う。〈意見書〉
- ・ 基本的な考え方として、再編が人数的な事であれば、かなり先の話であり、それまでは再編をするのかしないのか。根本的にしなくてよいのか、してはいけないのか分からない。〈教育委員会〉
- ・ 小学校は残して欲しいという思いがあったので、小学校は残す方向であることが嬉しかった。〈備中〉
- ・ 少子化で、子供の将来を考えると再編は必要と思うが、地域の事を考えると小学校はできるだけ残す努力をして欲しい。中学校は、高校、大学及び社会人になって行く過程

において、人としての成長が求められるため、多くの人とのふれあい、部活動などで精神面を磨いていくために再編を実施した方がよいと思う。〈意見書〉

- ・ 中学校になったら、大規模校がよいと思う。県南であれば、部活以外のクラブチームがあるが、高梁においてそれを選択しようと思えば、親が連れて行かねばならない。子供が選べる環境を作ってやりたい。〈高梁東〉
- ・ 中学校は、マンモス校に成りすぎても良い教育はできない。部活動は、高梁北、高梁東、有漢中学校合同でということは考えられないか。〈高梁北〉
- ・ 保護者の思いはいつも、子どもに最適な教育環境を与えたいということだけである。再編の賛成も反対も半数ずつである。

学校は、今の場所で学習面では、少人数である方が、目が行き届き、安心であるが、部活動を考えると選択肢がなく不安である。運動部に入らないと内申がよくないということだけである。

個人的には、中学校は再編せず、少人数でもやっていければよいと思っている。ただ、1学年が4人となる年があるので、それをどうするかは問題である。

地域に学校がなくなれば、活性化がなくなる。子供達のにぎやかな声を聞くだけで地域は明るくなる、人口減を食い止められる方法にもなる。今は核家族が多く、夫婦共働き世帯がほとんどであるので、地元にある学校があると通学の不安も減る。

多くの保護者が不安に思っている部活動については、例えば川上中学校にないサッカー一部に所属したい保護者がいれば、高梁中学校のサッカー一部に所属できて練習も可能な限り参加できるよう、ここは保護者も努力し、備北大会などの大会にも出場できるよう、市独自の配慮をしてもらえれば、再編しない選択肢も可能であると思う。それは文化部でも言えることではないか。とは言え、予算にも限りがあるので、無理は言えないが、一市民、一保護者として子どもが安心して勉強でき部活動を通じて心の成長をしていく環境整備を願っているので、様々な方法を審議していただければと思う。〈意見書〉

- ・ 中学校は、発達段階から考えると、人数を確保した方が、教育効果としては上がるという思いが拭い去れない。中学生の年齢では、数値で測れない人間関係形成能力や、大勢の中で鍛えられるものが、必要なのではないか。それこそが望む学力なのではないか。大きな視点で学力を考えた場合、この答申で小規模の中学校のまま続けるのがよいことなのかどうかと思う。〈教育委員会〉
- ・ 中学校において、1学年の生徒数一桁が継続的な場合という、継続的と言う状況はどのように考えているか。

地元からの要望という場合とするしかないのかと思うが、一桁というのが気にかかる。

地元の意見も大切だが、子供の事を考えて教育委員会は動かなければならないというところから、一桁というところに疑問を感じる。部活だけでなく、学校行事にも支障をきたす。〈教育委員会〉

- ・ P.2の諮問1の補足事項の中の準備委員会は、補足にしかならないのか。補足であれば弱い気がする。〈備中〉
- ・ P.2 諮問1の補足事項の②の中で、地元からの総意というのは、学校の保護者だけではだめなのか。〈川上〉
- ・ P T A、地域の意見を重視してほしい。〈意見書〉
- ・ P T Aと地域の意見のギャップがある。P T Aに再編の声があっても、地域から、教育委員会が、再編は一桁が継続的状态と書いているのではないかということになる。P T Aは若いので、地域での意見は弱い。〈教育委員会〉
- ・ 備中中学校の再編に関して、保護者の同意はどれだけ得る必要があると考えているか。〈議会全員協議会〉
- ・ 地元合意について明文化してほしい。〈議会全員協議会〉
- ・ 再編の時、バスについて約束をしたけれど、手当てが悪くなった。明文化しないと皆が不安を感じる。〈成羽〉
- ・ バス通学のメリット、デメリットも書いて欲しい。〈成羽〉
- ・ 保護者が心配せずすむよう、小中学校の通学バス・路線バス利用の無料化の事も、答申に明記していただきたい。それが実現しなければ、高梁市の子供は、ますます減ってしまうと思う。〈意見書〉

## 諮問2

- ・ 既存の教育を充実させる取組を推進することについて、勉強は、少人数でも可能であると思うが、部活や体育についてどのように考えているか。

現状： 女子も一緒に体育をするので、男子は手を抜くことを指示されており、男子はつまらないと言っている。

部活も人数が足りない部は、他校と一緒にやっている。

部活の先生も、顧問、副顧問と二人いない。

団体は、組織がなければ体育協会に入れないので、体育協会の大会に出場できない。市として考えていただきたい。〈川上〉



- ・ 小学校と小学校で交流する時間を増やして欲しい。その先で、ICT を用いた合同授業がより活発になり、実りあるものになると思える。早期に取り入れて、コミュニケーション能力の向上と今後の学校再編への備えとしていただきたい。〈意見書〉
- ・ ふるさと学習、伝統芸能について、再編の大きな枠の中でどのように行っていくのか。展開されるのか。答申案にどのように盛り込まれるのか。〈備中〉
- ・ 寮に入っていた人が、後年、隔離されているような気がしていたという意見があった。その学校だけに寮があるのはいかがか。デリケートな問題である。〈成羽〉

#### 再編の枠組み

- ・ 高梁北中学校が高梁中学校と再編というようになる場合には、高梁中学校までは20km以上あるが、成羽中学校であれば10kmであるので、宇治小の子は、成羽中へ行くことも検討していただきたい。〈高梁北〉〈意見書〉
- ・ 現在の中学校区外への登校は可能なのか。部活等、子供が目指す特別な理由がなければだめなのか。現状で不可能であるなら、緩和して欲しい。子供達に環境だけでも平等に選ぶ権利を与えてあげたい。〈意見書〉
- ・ 東中学校と北中学校の再編では、数年後には生徒数が減少し、再度再編しなくてはならなくなるので、どちらの中学校も思い切って高梁中学校と再編するのがよいと思う。高梁中学校か成羽中学校かについては、PTA、地域との話し合いが必要と思う。学校再編については、関係機関だけでなく、該当地域の各住民に説明し、意見を聴取することが必要であると思う。〈意見書〉

## 2 要望

- ・ 全国的に少子化が進む中で、再編は仕方がないと思うが、他校との合同学習を多く取り入れて欲しい。また、地元、PTA、学校、まちづくり、コミュニティ協議会との話し合いをしっかりとって欲しい。〈意見書〉
- ・ 高梁独自の教育の特徴があれば、もっと移住推進の助けとなる。〈有漢〉
- ・ 教育行政だけでなく、総合的な行政で考えて欲しい。〈成羽〉
- ・ PTAでの交流はないのか。飲み食いを行いながらというような交流を行って欲しい。そのようなことが、人間関係づくりには大切である。〈成羽〉
- ・ 中井中学校の再編の時、町が二分した。社会教育課はあるが、学校教育課も普段から一般の方の教育行政の関わりがあればよいと思う。再編が、目の前に近づいてからとなると理解されず、感情的になる。〈高梁北〉
- ・ 部活動において、団体競技ばかりを推進するのはいかがなものか。個人競技や、文化的なものなど個性を活かす競技の推進も入れて欲しい。〈成羽〉〈高梁東〉
- ・ 大規模校となれば、部活動の顧問、教科担任等の関係でも教員配置が問題なく行えるものなのか。部活動に携わる教員の異動先が、制約されるようでは、本末転倒になりかねない。  
外部講師の予算措置はできるのか。  
部活動の顧問の活動時間を2割程度削減するような動きがあるように聞いている。  
小規模校の部活ができない現状からすると、大規模校となれば、部活動もでき、部活動の選択肢も広がると単純に思われがちであるが。部活動のあるべき姿を示していただきたい。〈意見書〉
- ・ バス通学の生徒は、3年生は部活動があるが、1年生は部活動がないため、3年生に合わせたバスの時間まで待たなければならない。二便にしてもらえないか。〈成羽〉
- ・ 具合が悪くなった場合、すぐに保護者に迎えに来るよう言われる。保護者も大変なので、タクシーで送るなど配慮してもらえないか。〈成羽〉
- ・ 路線バスを利用する場合（今はこれは無料になっているが）、例えば子供が一人で月5,000円通学にかかるのであれば、3人では月15,000円であり、これが何年も続

くのである。再編とならず、地元の小中学校に徒歩通学さえできれば、必要ない費用である。〈意見書〉

- ・ 通学に高額なスクールバスを走らせることは止めて、介護施設等が運営に使用している大きさの車にすれば、少ない費用で効果が生まれると考える。〈意見書〉
- ・ 教員の配置数を減らさないよう働きかけることはできないのか。〈高梁〉
- ・ 中井小は、6年生がいないため、変則複式となっている。教員数は決まっていると思うが、教員の目が届くようお願いしたい。〈高梁北〉
- ・ Uターンしても、地域に小、中学校がなければどうするのということになる。児童生徒数が減っても、先生の人数は減らさないということを要望して欲しい。〈川上〉
- ・ 全てが子供の事なので、子供の意見も聞いてほしい。〈成羽、高梁東、備中〉
- ・ 審議が終わらなかったら、3月で審議を終わらせず、延長を。国の学校教育予算が低すぎる。要望していくと共に、智恵を出し合いましょう。〈高梁、議会全員協議会〉
- ・ この意見聴取会の開催は、どういう方に呼び掛けをしているのか。PTAを差し置いてまちづくりというのはいかがなものか。〈川上〉
- ・ PTAには、答申案の説明をして回るべきではないか。〈川上〉
- ・ PTAはPTAで意見を出し合い、まちづくりはまちづくりで意見を出し合い、それから互いの意見を合わせればよい。〈川上〉

### 3 質問

- ・ 基準に該当する再編した方がよい地域、学校があるか。〈有漢〉
- ・ 全校で2学級以下という状態とはどのような状態か。〈有漢〉
- ・ 中学校では、一定の規模が必要というのは、どのくらいの規模なのか。〈有漢〉
- ・ 増える見込みがある場合というのはどういうことか。〈成羽〉
- ・ 教育効果の保障が困難というのは、どのような状況なのか。その状況となっているかどうかの判断は、どのように下すのか。〈高梁〉
- ・ 中学校が再編する場合、教員配置が最も困ることになるところではないかと思う。教員配置はどう変わるのか。〈高梁〉
- ・ 基準を下回った場合、すぐに再編というわけではないという理解でよいか。〈高梁〉
- ・ 中学校で1学年の生徒数一桁の状態というのは、今の状態であるとどこで判断するのか。3年前となるといつからになるのか。〈川上〉
- ・ P.2の諮問1の補足事項の④において、通学時間がおおむね1時間というのは、小学生にはきついと思うが、P.5の答申に向けた議論過程と検討方針の中では、小学校はできるかぎり存続と書いてあるので、大丈夫であると思うが、1時間というのがどのように決まってきたのか聞きたい。〈備中〉
- ・ 児童数と言われた時に、小学校へ就学するには年齢制限はあるのか。〈備中〉
- ・ 小規模校のデメリットがあるにも関わらず、学力調査において、県内トップとなるのは、小規模校にどのようなメリットがあるからなのか。〈高梁東〉
- ・ 諮問2において、ICTによる合同授業は、何年後に行われる予定なのか。小中連携強化はどのようなことをするのか。〈備中〉
- ・ ふるさと学習、郷土芸能、伝統芸能は、何を想定しているか。〈議会全員協議会〉
- ・ この諮問2の三項目は、答申が出ると同時に、これに全て力を入れてやっていく、検討し始めるということになるのか。〈教育委員会〉
- ・ 部活動をしたくてもバスの時間があるからできないというようなことや、親が迎えに来るようなことがあるのか。〈成羽〉
- ・ 再編後の通学手段でバス通学となった場合、市の補助があるのか。親の負担が出てくるのか。〈高梁東〉

- 備中中学校の再編の時も第2次教育振興計画のような計画があったのか。〈成羽〉
- 備中中学校再編の時、どのような問題が出て来たか。〈高梁〉
- 最近の小学校、中学校の再編の再編までの流れや再編後の状況を教えて欲しい。  
〈高梁〉
- 備中中学校再編の生徒のその後の様子が知りたい。〈川上〉
- 備中中学校の再編の時の教訓はどう生かされているか。〈議会全員協議会〉
  
- 学校の児童生徒数で、児童生徒数が増えている学校がある。増えている理由は何であると思うか。〈高梁〉
  
- 予算関係を考慮しているのか。〈議会全員協議会〉

#### 4 その他

- 将来的な教育計画を立案する事は、大変重要な事である。〈意見書〉
- 成羽は、小学校中学校の再編については、既に整理されている。残っているのは旧高梁市内であり、そのためにこの審議会が設置されていると思っている。〈成羽〉
- 寮制度については、教員の時に保護者から聞いた「(中学になったら寮生活なので、)私達が、子供と生活できるのは12年である。」という言葉が心に残っている。〈成羽〉
- 備中中学校の再編の時、成羽の地元知らせてくれなかったという意見があった。〈成羽〉
- 成羽に行くと言ってしまうという声を聞いた。成羽に来てよかったという雰囲気づくりも大切である。〈成羽〉
- 新見市の再編は計画的されたが、高梁市は計画的でなかった。このような審議会が備中中学校の再編前に行われなかったことが残念でならない。過去の事は言いたくないが、話の進め方に問題があった。全員が納得することはあり得ないが、常識的に納得、理解しなければ、辛い思いをする。理解できなかったが、提出署名1, 177名分を分析された。委員長は、反対の方はおられませんと言われたが、我々は、方法論の事を主張していた。〈備中〉
- 備中中学校跡地は、企業誘致という意見がまとまり、提案したが、その後どうなったのか分からず、気を揉んでいる。上手くいくのであれば、一日も早くスタートしなければ、我々の傷に塩を塗ることになる。展望を教えて欲しい。〈備中〉
- 備中中学校の再編に尽力してくれた方々に、再編後の子供の様子を伝える場があるとよい。〈備中〉
- 備中中学校再編の時に、もう少し説明があったらよかったなと思った。〈備中〉
- 保育所を閉じる時、3人以上になった場合再開するとのことだったが、今は反故になっている。〈成羽〉
- 学区が広がったため、教職員も大変になった。〈高梁東〉

- 過疎、少子高齢化、人口減少は、日本の喫緊の課題でありながら、出口の見えない、後回しにして来てしまった問題であると思う。松原幼稚園の休園問題では、当事者にとっては重要であっても、それ以外の人にとっては、今一つ実感のないことであることがよく分かった。ずっと前から予想できた事態であっても、実際に当事者にならないと、事態の深刻さに気付かない人が多いように感じた。今からでも市民にしっかり周知し、真剣な話し合いが必要だと思った。＜意見書＞

## (2) 意見聴取会等の意見の集約について

「はじめに」に対して

- ・ 再編を言う前に人口を増やすことを考えなければならないのではないか。本当に具体的に人口を増やすためにはどうすべきかを話すべきである。〈高梁〉
- ・ 私が考える基本コンセプトは、「子供を育てるなら高梁」を目標にし、サブテーマとして「環境が子供を育てる。」、「教育とはチャンスを与えること。」と考えている。

少子化による小規模校の増加に対応するため、廃校基準を設けるだけでなく、小規模校のデメリットを特徴としてとらえ、小規模だからこそ出来る「子供の夢を育てる」環境作りをしていく。

縦の関係（小中連携）と横の関係（地域との連携）を考えられているが、核となるのは親であり、よい指導者の発掘である。子供に色々なチャンスを与えるためには、親の理解とよい指導者の育成が必要である。これらの方針を具体化することにより、高梁に住みたい、高梁で子育てをしたい、人が増えてくる、結果として人口減少に歯止めをかけていくことが出来るのではないのでしょうか。〈意見書〉

諮問1に対して

- ・ 再編の時、バスについて約束をしたけれど、手当てが悪くなった。明文化しないと皆が不安を感じる。〈成羽〉
- ・ バス通学のメリット、デメリットも書いて欲しい。〈成羽〉
- ・ 保護者が心配せずすむよう、小中学校の通学バス・路線バス利用の無料化の事も、答申に明記していただきたい。それが実現しなければ、高梁市の子供は、ますます減ってしまうと思う。〈意見書〉

【補足事項】①に対して

- ・ 保護者は早めに再編したい、地域は、活性化のために残しておきたい。勉強はそのまま、体育・部活のみ市の負担により合同でできるようにできないか。柔軟に対応する事に対してはどのように考えるか。〈川上〉
- ・ P.2の諮問1の補足事項の中の準備委員会は、補足にしかないのか。補足であれば弱い気がする。〈備中〉

【補足事項】②に対して

- ・ P.2 諮問1の補足事項の②の中で、地元からの総意というのは、学校の保護者だけではだめなのか。〈川上〉
- ・ 地元合意について明文化して欲しい。〈議会全員協議会〉



諮問 2 に対して

- ・ 特別支援に対する記述が必要なのではないか。〈議会全員協議会〉
- ・ 小学校と小学校で交流する時間を増やして欲しい。その先で、ICT を用いた合同授業がより活発になり、実りあるものになると思える。早期に取り入れて、コミュニケーション能力の向上と今後の学校再編への備えとしていただきたい。〈意見書〉

再編の枠組みの目安に対して

- ・ 高梁北中学校が高梁中学校と再編というようなことになる場合には、高梁中学校までは 20 km 以上あるが、成羽中学校であれば 10 km であるので、宇治小の子は、成羽中へ行くことも検討していただきたい。〈高梁北〉〈意見書〉

要望

#### 1 部活

- ・ 中学校の部活において、多種の運動部系、文化系と子供が選べる選択肢が欲しい。そのためには、部活は、一市一区や他校との合同というようなことは考えられないか。〈高梁東〉〈川上〉〈教育委員会〉

#### 2 通学

- ・ バス通学の生徒は、3 年生は部活動があるが、1 年生は部活動がないため、3 年生に合わせたバスの時間まで待たなければならない。二便にしてもらえないか。〈成羽〉

#### 3 教員数の維持

- ・ 教員の配置数を減らさないよう働きかけることはできないのか。〈高梁〉
- ・ 中井小は、6 年生がいないため、変則複式となっている。教員数は決まっていると思うが、教員の目が届くようお願いしたい。〈高梁北〉
- ・ Uターンしても、地域に小、中学校がなければどうするのということになる。児童生徒数が減っても、先生の人数は減らさないということを要望して欲しい。〈川上〉